

平成 26 年 5 月 13 日

投資者の皆様へ

T & Dアセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の「年2回決算型」
2014年5月12日決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「年2回決算型」の各コースにおける2014年5月12日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

<年2回決算型>

第9期分配金 (1万口当たり、税引前)

	円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
分配額	10円	10円	10円	10円

第6期分配金 (1万口当たり、税引前)

	カナダドルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース	金コース
分配額	10円	10円	10円	0円

第1期分配金 (1万口当たり、税引前)

	米ドルコース
分配額	10円

* 金コースにおいては基準価額の水準を勘案し、分配を見送ることいたしました。

分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

2013年11月～2014年4月の運用経過

2013年11月～2014年4月のエマージング債券市場はまちまちの展開となりました(米ドルベース、以下同じ)。米国連邦準備制度理事会(FRB)が2013年12月に量的金融緩和の縮小を開始しましたが、これを踏まえた世界的な流動性の減退や新興国からの資金流出が懸念され、期の前半は軟調に推移しました。また、成長鈍化やインフレ残存、政治的な行き詰まりなどの諸問題も意識され、2014年1月には資金流出が加速する局面もありました。しかしながら、大幅利上げなど、一部新興国の対応策も好感されて、2月初めに自律反発して以降は、値ごろ感などから投資資金が流入に転じ、ウクライナ・ロシア情勢などの地政学的リスクの高まりにもかかわらず、期末にかけて値を戻す展開となりました。結局、期を通じてみれば、米ドル建てエマージング債券市場(参考指数:JP モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイド、以下「米ドル建て債」)は上昇し、米国債に対するスプレッド(利回り格差)もわずかながら縮小しました。一方、新興国通貨が全般的に弱含んだ影響から、現地通貨建てエマージング債券市場(参考指数:JP モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド)は下落しました。

ポートフォリオは米ドルベースでプラスの収益率となりました。ベネズエラの米ドル建て国債やロシアの現地通貨建て国債、中南米でモバイル通信事業を営む米国のNIIホールディングスといった米ドル建て社債の組み入れなどがマイナスに作用したものの、ギリシャやポルトガルのユーロ建て国債、スロベニアの米ドル建て国債など、欧州周辺国の国債の組入れが主たるプラス要因となりました。

当期の主な投資行動では、ベネズエラやイラク、ポーランドなどの米ドル建て国債を一部売却した一方で、メキシコやアルゼンチン、トルコなどの米ドル建て国債の追加購入を行いました。その結果、国別ではベネズエラやロシア、ブラジルなどの比率が低下し、一方でメキシコやインドネシア、アルゼンチンなどの比率が上昇しました。

期末時点のポートフォリオにおいては、国別では、メキシコやインドネシア、スロベニア、トルコなどが組入上位国となっています。

新興国が抱える課題は国ごとに異なりますが、多くの国が近いうちに総選挙や大統領選挙を迎え、自国の脆弱性に対応した政策に取り組んでいくと見込まれます。また、地域ごとにまちまちのペースとはなるものの、世界的な景気の改善が新興国の成長回復を支える公算です。ポートフォリオでは、昨年来の下落局面を経てバリュエーション面で魅力を増した債券に投資機会を見出しているほか、インドネシアやコロンビアなど、改革や経済ファンダメンタルズの改善からの恩恵が期待される国の債券に注目しています。ギリシャをはじめとする欧州周辺国の債券も引き続き重視していますが、利回りの顕著な低下を踏まえ、利益確定のため、保有の一部を削減し始めています。

当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍外国投資信託)は2014年4月末現在でエマージング債券の組入数は178銘柄、債券の組入比率は95.1%となっております。

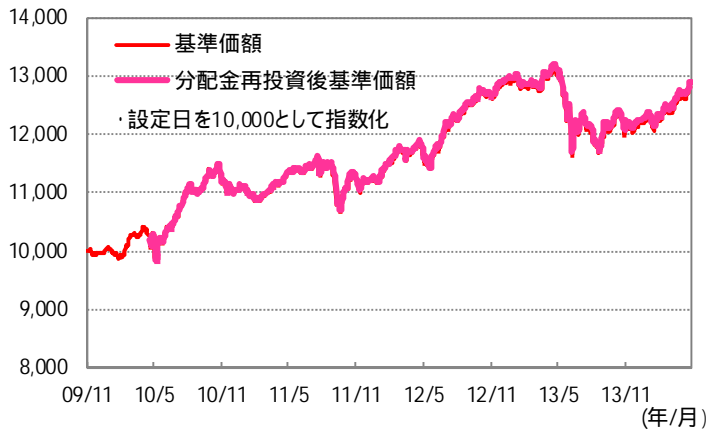
出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

基準価額の推移 (設定日～2014年5月12日)

「分配金再投資後基準価額」の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの設定日は2009年11月17日、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースの設定日は2011年8月10日です。

円コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

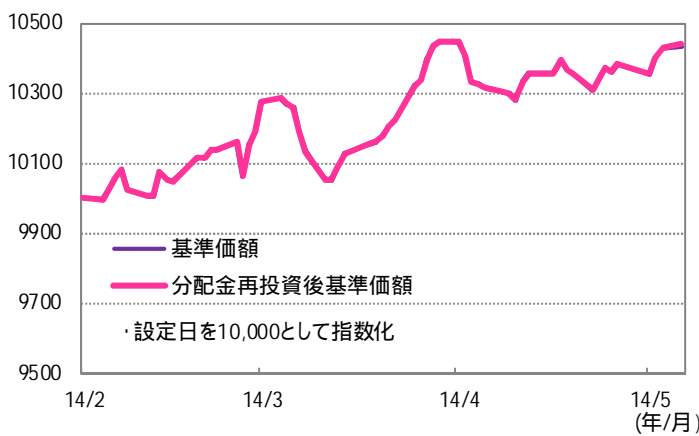
	決算日	分配金
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
第9期	2014/5/12	10円
設定来		80円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	12,807円
純資産総額	9.7億円

米ドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

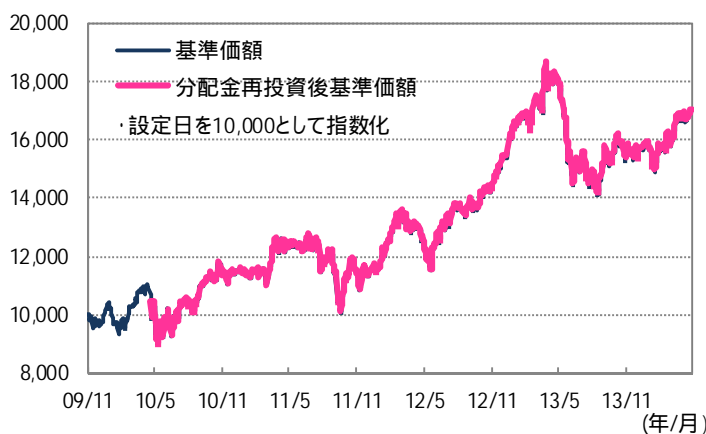
	決算日	分配金
第1期	2014/5/12	10円
第2期		
第3期		
第4期		
第5期		
設定来		10円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	10,434円
純資産総額	1.0億円

豪ドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
第9期	2014/5/12	10円
設定来		80円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	16,945円
純資産総額	4.0億円

ブラジルリアルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

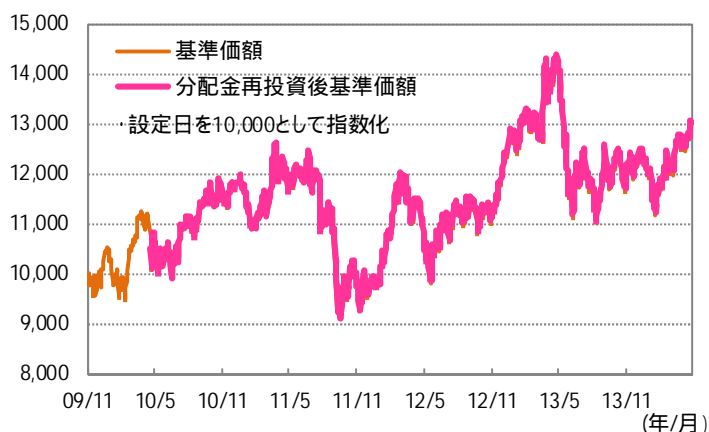
	決算日	分配金
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
第9期	2014/5/12	10円
設定来		80円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	14,991円
純資産総額	16.7億円

南アフリカランドコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

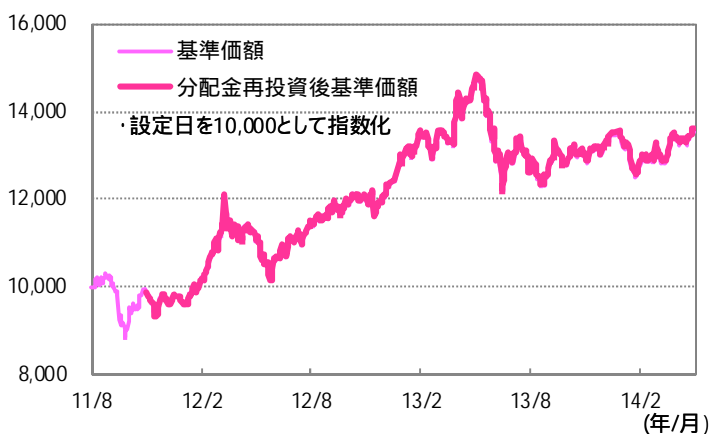
	決算日	分配金
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
第9期	2014/5/12	10円
設定来		80円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	12,936円
純資産総額	0.4億円

カナダドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

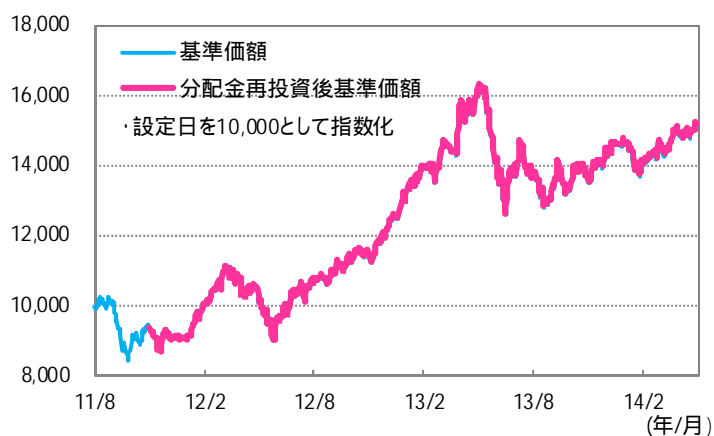
	決算日	分配金
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期	2013/5/10	10円
第5期	2013/11/11	10円
第6期	2014/5/12	10円
設定来		50円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	13,553円
純資産総額	0.9億円

メキシコペソコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

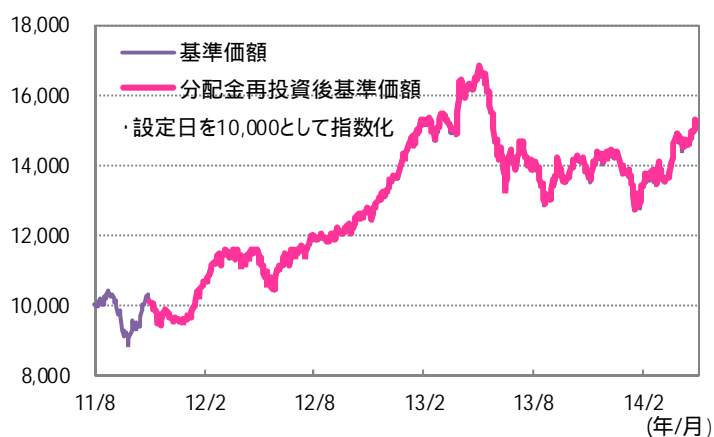
	決算日	分配金
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期	2013/5/10	10円
第5期	2013/11/11	10円
第6期	2014/5/12	10円
設定来		50円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	15,138円
純資産総額	32.1億円

トルコリラコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

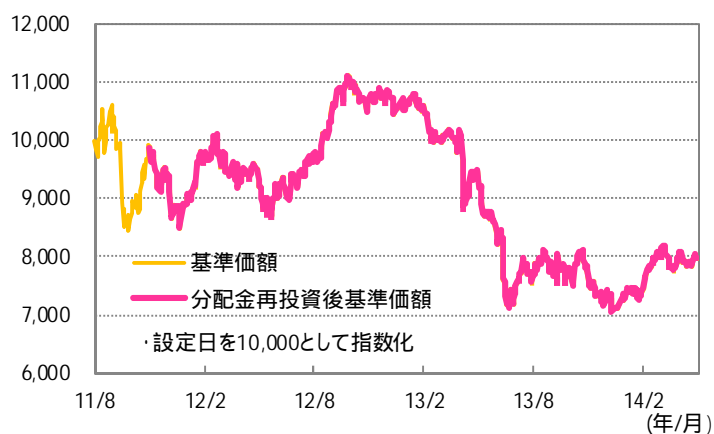
	決算日	分配金
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期	2013/5/10	10円
第5期	2013/11/11	10円
第6期	2014/5/12	10円
設定来		60円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	15,183円
純資産総額	7.3億円

金コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第2期	2012/5/10	0円
第3期	2012/11/12	10円
第4期	2013/5/10	0円
第5期	2013/11/11	0円
第6期	2014/5/12	0円
設定来		10円

1万口当たり、税引前

2014/5/12

基準価額	7,973円
純資産総額	2.9億円

分配方針(年2回決算型)

毎年5月および11月の10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

ただし必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号				

加入協会に 印を記載しています。

当資料はT & Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主たるリスクについて

<各ファンド(マネープールファンドを除く)>

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

<マネープールファンド> 「債券価格変動リスク」

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ・ 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して 上限 3.24%(税抜 3.00%) (マネープールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	--

スイッチング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して 上限 1.62%(税抜 1.50%) (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	---

換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
換金手数料	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.9504%(税抜 0.88%) 実質的にご負担いただく信託報酬率 : 年 1.7004%(税抜 1.63%)程度 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) マネープールファンド : 年 0.594%(税抜 0.55%)以内
その他の費用・手数料	【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.00864%(税抜 0.008%) マネープールファンド : 年 0.0054%(税抜 0.005%) 【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。